

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「今時魔王の「地上しんこう計画」」

テーマ:「魔王なのに、世界征服しない美少女」

キャラクター

40

ストーリー

45

テーマ(設定)

40

文章力

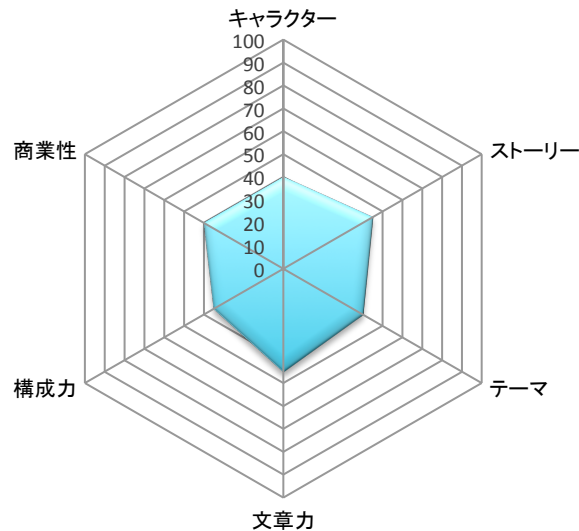
45

構成力

35

商業性

40



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・「魔王と勇者もの」という王道を行くだけであり設定そのものは非常に面白いが、このような設定は既存の作品だけでもかなりの数が溢れているため、もう少し「これ」という差別化要素が欲しい。恐らくその「これ」には魔王と勇者という対立する存在が同じ目標にむけて頑張るというコンセプトが該当すると思われるが、何分セイルとルビアの行動がかなり表面的(世界征服に興味がないというのは面白いが、ではなぜ人類と親交を築くことには興味でたのかなどが分かっていない)であるので、この作品唯一のコンセプトというにはまだ掘り方が足りないと考えられる。逆にここをより深く掘り込めば、「魔王と勇者の協力から生まれるドラマ」として多作品とは差別化された今よりもっと良い作品ができるのではないかと考えられる。

・個人的には使い切れていない設定があるように伺えたので、是非一度この作品を長編で読んでみたいと感じた。

合計加点ポイント 0

総得点: 245 / 600

B方式総合得点: 10004 点